【PGSASアプリの活用法】

PGSASアプリはPGSAS-37質問票を用いて得られた患者の評価情報をレーダーグラフにより視覚的に表し、電子カルテもしくはパーソナルコンピューター（PC）上で多職種が共有し、チーム医療による適切な胃切除後障害の生活指導と治療を行うために開発されたエクセル形式のソフトである。データベース化による臨床試験への応用も可能である。

**PGSASアプリ使用の流れ**　【図１】

• 栄養指導の一環として使用する

•　患者自身が本アプリに直接回答を入力するのはやや困難なため、対面式に医療者（管理栄養士、看護師、医師）が各質問項目への回答を入力するか、患者に紙媒体の質問票に記入してもらいその結果を医療者が本アプリに入力する

• 入力された結果は直ちにグラフ化されて現われ、これをPC画面上または印刷されたレポートとして患者説明に利用する

• 出力レポートには結果とともに必要なアドバイスが自動選択されて表示されるので、それを患者の指導に活用する

•　PGSASアプリに入力した患者・術式情報と回答結果が一患者一行になるようにエクセル・シート上に表示されるため、これをコピー＆ペーストすることで簡単にデータベース化することができる。PGSASの下位尺度も自動計算され表示される。

**PGSASアプリの構成**

PGSASアプリはエクセル上で下記の多層シートで構成される。

● 患者基本情報入力用シート　（担当医が入力）

● PGSAS-37質問票　入力用シート　（栄養部が入力）

● 結果表示画面　 (印刷可能)

1. GSRS, PGSASの各症状項目, 生活（症状、食事、身体活動）への不満度, 体重変化のグラフ

→【図２】

(2) PGSAS症状下位尺度のグラフおよび食事・生活指導の内容

→【図３】

　※　(1),(2)の結果表示画面には質問に回答した患者と同じ胃切除術式を受けた患者の平均値（PGSASスタディのデータベースより引用）が自動表示されるため、それと対比して説明することができる。さらに「比較したい術式」を選択することにより、その患者が受けた胃切除術式以外とも比較することが可能である。

● 集計用データ一覧表示シート　　（データベース化が容易）

● 使い方説明用シート